

# 会議議事録（抄）

会議名	専門学校東京テクニカルカレッジ 第一回 建築・インテリア系教育課程編成委員会	
開催日時	平成 25 年 11 月 19 日（火） 13 時 30 分～15 時 30 分	
会場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール	
参加者	外部委員：7 名	内部委員・学内関係者：8 名
	<p>&lt;外部委員：7 名／7 名中&gt; (順不同・敬称略、役職は委員名簿参照)</p> <p>大塚 雄二（社団法人建築家協会／大塚雄二都市建築設計事務所、三号委員）          霜野 隆（インテリアプランナー協会会長 株式会社レスト、一号委員）          中村 勉（東京建築士会／株式会社中村勉総合計画事務所、一号委員）          樋口 修（東京商工会議所中野支部／株式会社ヒグチ設計、一号委員）          北側 辰雄（清水建設株式会社、三号委員）          中山 聡（前田建設工業株式会社、三号委員）          宮脇 伸歩（株式会社 LIXIL、三号委員）</p> <p>※ 一号委員：業界団体・職能団体・地方公共団体等役職員、二号委員：学会・学術機関等有識者、三号委員：企業・関連施設等 役職員</p> <p>&lt;内部委員&gt;</p> <p>三上 孝明（学校法人小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ 校長、第一部のみ）          高瀬 恵悟（同 教務部長、第一部司会、第一部のみ）          甲田 竜雄（同 建築監督科 科長兼カリキュラムリーダー、記録）          白井 雅哲（同 インテリア科 科長兼カリキュラムリーダー、議長）          鈴木 昇（同 建築科夜間 科長兼カリキュラムリーダー）          野上 和裕（同 建築科教員（今野建築科長の代理として））</p> <p>&lt;学内関係者&gt;</p> <p>佐々木 章（学校法人小山学園 学園理事 学園本部長、第一部のみ）          佐藤 康夫（同 学園理事 東京工科自動車大学校 校長、第一部のみ）</p>	
会議録	<p>&lt;第一部 全体会&gt;</p> <p>0. 開会の辞・スケジュール案内（司会）</p> <p>1. 学園側関係者挨拶（佐々木、佐藤、三上）</p> <p>2. 委員の紹介（三上）</p> <p>3. 教育課程編成委員会について（高瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職業実践専門課程」趣旨説明</li> <li>・教育課程編成委員会会則のご紹介・委員長紹介</li> </ul> <p>4. 学校の全体概況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の概況説明（三上）</li> <li>・「平成 24 年度自己評価報告書」の概要説明（高瀬）</li> </ul> <p>&lt;第二部 系別分科会&gt;</p> <p>1. 議長挨拶（白井）</p> <p>2. 各科の概況説明（野上、鈴木、甲田、白井）</p> <p>3. 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細分化されたカリキュラムと、それを管理するための PDCA サイクルがきちんと回っていることに感心した。これだけに終わらないで、ブラッシュアップもしていくことも重要だと思う。</li> <li>・今日の説明では技術といった部分についての取組みが多かったが、学園理念にある“夢”というワードに対する取組みはどういったことをしているのかが気になったので、次回にでもぜひ聞いてみたい。</li> </ul>	

- ・ 授業シートやカルテなどのツールがしっかりしているのは感銘を受けるが、実務の立場からみると、あまり教材を与えずるのは如何かと思う。自分で考えさせた方が、真の勉強になると思う。
- ・ 学生がカリキュラム全体の中でどこを学習しているのかわかるような仕組みが作れると良いと思う。
- ・ 現場の運営では、細かな技術よりも全体像からものごとを捉えて進めていった方が上手くいくこともある。現在のカリキュラムにあるような細かな技術を磨くことも大事だが、ものごとを全体から捉えられることも重要なので、そういった側面もカリキュラムには必要だと思う。
- ・ 建築科の東中野調査資料が非常に良かった。中野区では、地区計画といって、区に住まう住人が中心になって地区計画を行う事業をしているので、こういった活動をもって地区計画などに参加していくと良いと思う。
- ・ 一昔前の建築教育と比べると、密度がかなり濃くなっているとの印象を受ける。一方で、学生の価値観も多様化しているため、あまり興味がない部分の深度をピンポイントで深くし過ぎると、学生が付いて来れなくなるのでは。
- ・ インテリア科でやっているショールームに行って自分たちで見て調べる、建築科のように街に出て自分たちで調べるということは非常に良い取り組みだと思う。こういった自分たちで調べ考えることを更に発展できないかと全体を通して感じた。
- ・ インテリア科のカリキュラムにおいて、インテリアプランナーという資格は、建築士資格と近い位置の資格となっているので、インテリアプランナー資格なども取り入れた科目も持ってもらいたい。
- ・ インテリアのショールームでは接客をする仕事も多く、人と接することが重要なスキルとなるため、人と接するスキルを育成するような時間を持つ必要もあると思う。
- ・ 今後は耐震診断、補強工事が増えてくるだろうから、そういったリフォーム系授業を増やしていくと良いのではないか？
- ・ 今日のカリキュラムの説明では、省エネなどの環境系の科目については、どの学科からも話が出てこなかった。現在の科目の中に分散して取上げられているのかも知らないが、新しい省エネ法なども今年から施行され、省エネが義務付けられていくこともあり、省エネなどに関する環境系の内容を科目としてカリキュラムに取り入れていった方がよいのではないか。

以上のご意見を参考に、今年度第二回の当該会議で更に深く意見交換を行うこととした。

4. 次回日程について（議長）

- ・ 平成 25 年 1 月 23 日（木）15 時 30 分～17 時 30 分

5. 閉式の辞（議長）

以上